



## 校長室より



令和6年10月8日

No.18

自分らしく生きる 豊かに生きる

朝夕の風に秋の涼しさを感じるこのごろ、ようやくしのぎやすい季節となりました。気付けば令和6年度も折り返し地点となります。落ち着いて学習に取り組むことができる季節でもあり、実りの秋といわれるように、学習の成果が見られるのもこの時期ですね。

マンスリータイムズ（ホームページ上の学校だより）でも、本校の学校運営協議会委員の皆さんを紹介するコーナーを設けていますが、今年度も委員さんと連携した活動がいろいろ展開されています。『美浜町（ちいき）でそだつ みはまの子』というキャッチフレーズを掲げ、美浜町地域のサポートを得ながら、美浜町のことを学習したり、本校のことを知ってもらったりする学習活動もその一つです。

本通信 16号では、美浜町役場の方から煙樹ヶ浜の松林の歴史や保全活動を学ぶ取組を紹介しました。美浜町のキャラクターである、「まつりん」と「ぼっくりん」も身近な存在になりました。

マンスリータイムズでも報告していますが、二学部中学部生が美浜町役場とJA紀州の協力の下で、美浜町の特産品である「松きゅうり」を本校の温室を活用して栽培を始めました。きゅうりの苗は順調に育っています。



10月8日（火）、美浜町文化協会「わくわくキャラバン隊」から、オカリナのみはま（6名）のみなさんによるオカリナコンサートが、和歌山病院内のはまかぜ教室で開催されました。一学部児童生徒は、病棟グループ別で順番に、目の前で生演奏を楽しみました。心に響く美しい音色で、癒しの時間となりました。10曲以上の演奏曲の中で、好きな曲が演奏されると笑顔を浮かべたり、体を揺らしたりしながら聴いていましたね。オカリナのみはまのみなさん、同じ町内なので、また演奏を聴かせてくださいね。

